

わたしの 妊娠報告書

記載日 2018年 4月 25日

おめでた宣言日	2018年 4月
年齢 (37) 歳	平成 (27) 年 (11) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2011) 年 (10) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回) ?
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 (0) 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 (2) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

思いつめすぎないようにしていました。
 子どもは欲しいけど、できなければ二人で楽しく生きていこうと
 治療しつつも、シュミの山登りなどはできるだけ制限しませんでした。
 おかげで治療はそれほど負担ではなく、妊娠したときは
 喜びもたくさんありました。驚きもありました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

初めて来院したとき、子宮内膜症なので、おそらく体外受精になるだろうと、やさしく言われ、でも「ま、なんとかなるでしょう」とも言われ、ショックは大きかったのですが、絶望はしませんでした。タイミング法や人工授精でダメだったときも、最初に言われていたのとそれほどショックを受けず、次がんばろうと思いました。

その他（通院・治療費・家族など）

治療中の方へのアドバイス

夫婦一緒に通院していると、待ち時間の間に外食したり、のんびり会話をしたり、わりと楽しめました。思いつめず、2人の時間（待合室での）を楽しむ、治療も大切だけど、リュミは制限しすぎない、など無理なく続けたいと思います。

スタッフへのご意見など

いつも丁寧に声をかけていただき、ありがとうございました。先生の話し方や声のトーン、安心できました。採卵・麻酔なしでドキドキしていたとき、看護師さんが手を握ってくださって、すごく安心できました。